

第1学年 国語科学習指導案

1 単元名 ちがいをかんがえてよもう「どうぶつの赤ちゃん」

2 本単元の目標

- ライオンとしまうまの赤ちゃんの生まれたばかりの様子や大きくなっていく様子の違いを比べその違いは、おかあさんの違いに理由付けられることを読み取ることができる。
- 書かれていることの大体をとらえるために、「問いの文と答えの文を読む」「挿絵とつないで読む」「言葉をはずして読む」「時間を表す言葉を読む」「似た言葉と比べて読む」読み方を身に付けることができる。
- いろいろな動物の赤ちゃんについて興味をもって調べ、動物の赤ちゃん図鑑を作ることができる。

3 学習指導の考え方

- 本学年の子どもたちは、これまでに「いろいろなくちばし」「じどう車くらべ」という2つの説明文の学習をしてきている。「いろいろなくちばし」では、問いと答えの文に着目し、挿絵とつないで読むことにより、くちばしの形は食べ物を取りやすい形になっていることを読み取る学習をした。また、「じどう車くらべ」では、冒頭の問いの文を受けて、答えの叙述を読みながら、仕事とつくりを関連付けて読み取る学習をした。これらの学習を通して、子どもたちは問いの文に対しての答えの文という説明文の構成に気付き、問いの文を受けて答えを読み取る力、挿絵とつないで説明されていることを具体的にとらえる力を身に付けてきている。

しかし、挿絵を読むことはできても、文字を書いたり読んだりすることに個人差があるため、叙述にそって書かれていることの大体を読み取ることはまだ十分ではない。

- 本単元は、ライオンとしまうまの赤ちゃんの特徴や違いなどを考えながら内容の大体を読み取り、いろいろな動物の赤ちゃんについて興味をもって調べ、動物の赤ちゃん図鑑を作ることをねらいとしている。

本教材「どうぶつの赤ちゃん」は、冒頭の問題提示文と、その答えとなるライオンとしまうまの赤ちゃんの様子を表した文章とで構成され、ライオンとしまうまの赤ちゃんの様子を比較する形で書かれている。はじめに、動物の赤ちゃんが生まれたばかりの様子と大きくなっていく様子についての問いが出されているので、子どもに読みの視点をもたせやすい。また、本文では、動物の王様であるライオンと、獲物となるしまうまの2つを取り上げて説明しているのので、2つの違いを比べて読みながら、赤ちゃんの様子がなぜ違うのかを考えさせるのに適した教材であると考えられる。

- 指導にあたっては、まず、題名「どうぶつの赤ちゃん」に着目させ、分かることや疑問を出し合った後に、冒頭の2つの問いの文と単元名「ちがいをかんがえてよもう」をつないで、読み通しの目を生み出す。

予見の段階では、読み通しの目に沿って、ライオンとしまうまの赤ちゃんとは、「生まれたばかりの様子」と「大きくなっていく様子」がどのように違っているのかを、「大きさ」「目や耳」「おかあさんににているか」「歩くようになるまで」「食べ物」の5つの観点から表にまとめる。

学習計画の段階では、ライオンとしまうまの赤ちゃんの様子がなぜ違うのかに着目して読み確かめの計画を立てる。

読み確かめの段階では、挿絵と叙述をつないで読んだり、言葉をはずして読んだり、時間を表す言葉を読んだり、似た言葉と比べて読んだりしながら、ライオンとしまうまの赤ちゃんの様子を比べ、なぜ違いがあるのかを読み確かめていくようにする。

読みのまとめの段階では、ライオンとしまうまの赤ちゃんの様子の違いをおかあさんの違いと関連付けながらまとめていく。そして、学習した読み方を振り返る。

発展では、自分たちでいろいろな動物の赤ちゃん図鑑を作る活動へとつなぎ、学習内容の理解を確かなものとする。

4 学習指導計画（全14時間）

次時	主な学習活動	指導上の留意点	学習する読み方															
一 読み通しの目	1 題名と冒頭をつないで読み通しの目をつくることを確認する。	○ 動物の赤ちゃんについて知っていることや知りたいことを出し合い、読みの方向をつかませる。 ○ 「生まれたばかりの様子」と「大きくなっていく様子」を示す問題提示文に気付かせ、読み通しの目をつくる。	<table border="1"> <tr> <td>題名を読む</td> <td>冒頭を読む</td> </tr> <tr> <td>問いの文を読む</td> <td>答えの文を読む</td> </tr> </table>	題名を読む	冒頭を読む	問いの文を読む	答えの文を読む											
	題名を読む			冒頭を読む														
問いの文を読む	答えの文を読む																	
2 題名から分かることや疑問を出し合う。																		
3 冒頭を読み、問題提示文と単元名をつなぎ、読み通しの目をつくる。																		
読み通しの目																		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>どうぶつの赤ちゃんは、生まれたばかりのときは、どんなようすをしているのだろう。そして、どのようにして大きくなっていくのだろう。 ちがいをかんがえてよもう。</p> </div>																		
二 予見	1 読み通しの目をもとに全文を読み、予見をまとめることを確認する。	○ 音読させることで、「生まれたばかりの様子」と「大きくなっていく様子」が書かれている段落を確認させる。																
	2 全文を読み通し、音読の練習をする。	○ 新出漢字の練習と難語句の意味を確認させる。																
1	1 読み通しの目に対する予見をまとめる。	○ ライオンとしまうまの赤ちゃんの違いを5つの観点に沿って、表にまとめさせる。																
予見																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>ライオンの赤ちゃん</th> <th>しまうまの赤ちゃん</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生まれたばかりのようす</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 大きさ 目や耳 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> もう、やぎぐらい 目はあいていて、耳もぴんと立っている。 </td> </tr> <tr> <td>あるくようになるまで</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> よわよわしくて、あまりにいていない。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> しまのもようもついていて、おかあさんにそっくり </td> </tr> <tr> <td>大きくなっていくようす</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> じぶんではあるくことができない。 おかあさんに口にくわえてはこんでもらう。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 生まれて三十ぶんもたたないうちに、じぶんで立ち上がる。 つぎの日には、はしるようになる。 </td> </tr> <tr> <td>たべもの</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 二ヶ月くらいは、おちちだけ やがて おかあさんのとったえものをたべる。 一年ぐらいたつとえものとりかたをおぼえる。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> おちちだけのんでいるのは、たった七日ぐらいのあいだ じぶんで草もたべる。 </td> </tr> </tbody> </table>			ライオンの赤ちゃん	しまうまの赤ちゃん	生まれたばかりのようす	<ul style="list-style-type: none"> 大きさ 目や耳 	<ul style="list-style-type: none"> もう、やぎぐらい 目はあいていて、耳もぴんと立っている。 	あるくようになるまで	<ul style="list-style-type: none"> よわよわしくて、あまりにいていない。 	<ul style="list-style-type: none"> しまのもようもついていて、おかあさんにそっくり 	大きくなっていくようす	<ul style="list-style-type: none"> じぶんではあるくことができない。 おかあさんに口にくわえてはこんでもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> 生まれて三十ぶんもたたないうちに、じぶんで立ち上がる。 つぎの日には、はしるようになる。 	たべもの	<ul style="list-style-type: none"> 二ヶ月くらいは、おちちだけ やがて おかあさんのとったえものをたべる。 一年ぐらいたつとえものとりかたをおぼえる。 	<ul style="list-style-type: none"> おちちだけのんでいるのは、たった七日ぐらいのあいだ じぶんで草もたべる。 		
	ライオンの赤ちゃん	しまうまの赤ちゃん																
生まれたばかりのようす	<ul style="list-style-type: none"> 大きさ 目や耳 	<ul style="list-style-type: none"> もう、やぎぐらい 目はあいていて、耳もぴんと立っている。 																
あるくようになるまで	<ul style="list-style-type: none"> よわよわしくて、あまりにいていない。 	<ul style="list-style-type: none"> しまのもようもついていて、おかあさんにそっくり 																
大きくなっていくようす	<ul style="list-style-type: none"> じぶんではあるくことができない。 おかあさんに口にくわえてはこんでもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> 生まれて三十ぶんもたたないうちに、じぶんで立ち上がる。 つぎの日には、はしるようになる。 																
たべもの	<ul style="list-style-type: none"> 二ヶ月くらいは、おちちだけ やがて おかあさんのとったえものをたべる。 一年ぐらいたつとえものとりかたをおぼえる。 	<ul style="list-style-type: none"> おちちだけのんでいるのは、たった七日ぐらいのあいだ じぶんで草もたべる。 																

三 学 習 計 画	1 1 読み確かめの計画を立てることを確認する。 2 ライオンとしまうまの赤ちゃんの違いを考え、読み確かめていく計画を立てる。	○ 予見の表をもとにライオンとしまうまの赤ちゃんの違いに気付かせ、なぜ違っているのかも考えていくようにまとめる。	
四 (A 組 本 時) 読 み 確 か め	1 ライオンとしまうまの赤ちゃんの生まれたばかりの様子を比べ、なぜ違うのかを読み確かめていくことを確認する。 2 生まれたばかりの様子の違いを読み取る。 3 なぜ違うのかを話し合う。 4 生まれたばかりの様子と、なぜ違うのかをまとめる。	○ 「子ねこぐらいの大きさ」と「やぎぐらいの大きさ」を比較しやすいように実物大の挿絵を用意しておく。 ○ 「ライオンはどうぶつの王さま」という叙述から、ライオンのおかあさんの強さを読み取らせることで、赤ちゃんの様子の違いは、おかあさんの違いに理由付けられることをとらえさせる。 ○ 板書を使って学習した内容を確認した後、教師といっしょに書きまとめる。	挿 絵 と つ な い で 読 む 言 葉 を は ず し て 読 む
ライオンの赤ちゃんは、よわよわ赤ちゃんです。それは、おかあさんがつよくて、まもってくれるからです。しまうまの赤ちゃんは、しっかり赤ちゃんです。それは、おかあさんが、あまりつよくないからです。			
1 (B 組 本 時)	1 ライオンとしまうまの赤ちゃんの歩くようになるまでの様子を比べ、なぜ違うのかを読み確かめていくことを確認する。 2 歩くようになるまでの様子の違いを読み取る。 3 なぜ違うのかを話し合う。 4 歩くようになるまでの様子と、	○ 挿絵と叙述からライオンとしまうまの赤ちゃんの歩くまでの様子の違いを読み取らせる。 ○ 「三十ふんもたたないうちに」「つぎの日には」という時間を表す言葉に着目させ、しまうまの成長の速さを読み取らせる。 ○ 「立ち上がる」という叙述と「立つ」という言葉を比べ、しまうまの力強さや一生懸命さを読み取らせる。 ○ 「つよいどうぶつにおそわれても・・・」の叙述から、ライオンとしまうまの「おそう」「おそわれる」の関係をとらえさせる。 ○ 歩くようになるまでの様子の違いは、	時 間 を 表 す 言 葉 を 読 む 似 た 言 葉 と 比 べ て 読 む

	なぜ違うのかをまとめる。	おかあさんの違いに理由付けられることをとらえさせる。
	<p>ライオンの赤ちゃんは、あるくようになるのがおそいです。それは、おかあさんがつよくてあるけなくてもまもってくれるからです。しまうまの赤ちゃんは、すぐにあるくようになります。それは、おかあさんもおそわれるので、いっしょににげないといけないからです。</p>	
1	<p>1 ライオンとしまうまの赤ちゃんが自分でえさを食べるようになるまでの様子を比べ、なぜ違うのかを読み確かめていくことを確認する。</p> <p>2 えさを食べるようになるまでの様子の違いを読み取る。</p> <p>3 なぜ違うのかを話し合う。</p> <p>4 えさを食べるようになるまでの様子と、なぜ違うのかをまとめる。</p>	<p>○ 時間を表す言葉に着目させ、しまうまの成長の速さを読み取らせる。</p> <p>○ カレンダーを使って、月日の経過をとらえやすくする。</p> <p>○ 自分でえさを食べるようになるまでの様子の違いは、肉食動物と草食動物の違いに関係していることをとらえさせる。</p>
	<p>ライオンの赤ちゃんは、じぶんでえさをとれるようになるまでに一ねんかかります。それは、おかあさんがつよくて、えものをもってたべさせてくれるからです。しまうまの赤ちゃんは、七日ぐらいで、じぶんで草をたべるようになります。それは、おそわれたときに、おかあさんといっしょににげるためです。</p>	
五 読 み の ま と め	<p>1 読み通しの目にもどって読みのまとめをすることを確かめる。</p> <p>2 ライオンとしまうまの赤ちゃんの様子の違いとそのわけを書きまとめる。</p> <p>3 学習した読み方をまとめる。</p>	<p>○ 掲示物をもとに、ライオンとしまうまの赤ちゃんの様子の違いを振り返り、その違いは、おかあさんや食べ物の違いに理由付けられたことをまとめる。</p> <p>○ 掲示物をもとに、学習した読み方を振り返る。</p>
六 発 展	<p>5</p> <p>1 動物の赤ちゃん図鑑を作ることを確認する。</p> <p>2 動物の赤ちゃんに関する本を読む。</p> <p>3 赤ちゃん図鑑を作る。</p>	<p>○ 多くの種類の本を子どもに紹介し、興味・関心を広げる。</p> <p>○ 生まれたときの様子と成長する様子とに分けて書かせるようにする。</p>

9 本時の展開

時	学習活動と内容	指導上の留意点
2	<p>1 本時のめあてを確かめる。</p> <div data-bbox="244 360 777 517" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ライオンの赤ちゃんとしまうまの赤ちゃんの生まれたばかりのようすをくらべ、なぜちがうのかをよみたしかめよう。</p> </div> <p>3 ライオンとしまうまの赤ちゃんの生まれたばかりの様子を読み取る。</p> <p>(1) 生まれたばかりの様子を表す言葉を視写する。</p> <p>(2) 生まれたばかりの様子について話し合う。</p> <div data-bbox="276 884 707 999" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>ライオン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ねこぐらいの大きさ ・目や耳はとじたまま ・おかあさんににいていない </div> <div data-bbox="544 1010 770 1061" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;"> <p>よわよわ赤ちゃん</p> </div> <div data-bbox="276 1077 707 1234" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>しまうま</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もう、やぎぐらいの大きさ ・目はあいている ・耳もぴんと立っている ・おかあさんにそっくり </div> <div data-bbox="544 1245 770 1296" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;"> <p>しっかり赤ちゃん</p> </div> <p>4 生まれたばかりの様子がなぜ違うのかを話し合う。</p> <div data-bbox="316 1424 767 1464" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>ライオンは、どうぶつの王さま</p> </div> <p>5 本時学習のまとめをする。</p> <p>(1) ライオンとしまうまの赤ちゃんの生まれたばかりの様子の違いと、なぜ違うのかを書きまとめる。</p> <div data-bbox="244 1659 770 1854" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ライオンの赤ちゃんは、よわよわ赤ちゃんです。それは、おかあさんがつよくて、まもってくれるからです。</p> <p>しまうまの赤ちゃんは、しっかり赤ちゃんです。それは、おかあさんが、あまりつよくないからです。</p> </div> <p>(2) 学習した読み方を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挿絵とつないで読む。 ・言葉をはずして読む。 	<p>○ 学習計画表をもとに、本時のめあてを確かめる。</p> <p>○ 3つの観点「大きさ・目や耳・おかあさんとにいてるか」からライオンとしまうまの赤ちゃんの様子を比べていくことを確かめる。</p> <p>○ 生まれたばかりの様子を表す言葉に気を付けて音読させる。</p> <p>○ 生まれたばかりの様子の違いを読み取るために中心となる言葉を視写させる。</p> <p>○ 実物大の挿絵を提示することで、それらの赤ちゃんの生まれたばかりの様子を具体的にとらえさせる。</p> <p>○ 「ぴんと」の言葉に着目し、言葉をはずしたり動作させたりして読むことで、しまうまの赤ちゃんの耳の方がよく聞こえることをとらえさせる。</p> <p>○ それれに「よわよわ赤ちゃん」「しっかり赤ちゃん」などの名前を付けることにより、違いを明確にさせる。</p> <p>○ 「ライオンは、どうぶつの王さま」という叙述から、ライオンのおかあさんの強さを読み取らせ、それに比べて、しまうまのおかあさんは、強い動物から げる であることをとらえさせる。</p> <p>○ 板書をもとに 日の学習を振り返り、教師と いっしょに書きまとめさせる。</p> <p>○ 書き出しを示しておき、めあてからずれないようにまとめさせる。</p> <p>○ 板書をもとに、 日学習した読み方を振り返らせる。</p>

第1学年O組

5 本時 (/ 14)

6 本時の目標

- ライオンとしまうまの赤ちゃんが、自分で歩くようになるまでの様子の違いを比べ、その違いは、おかあさんの違いに理由付けられることを読み確かめることができる。
- 書かれていることの大体をとらえるために、「時間を表す言葉を読む」「挿絵とつないで読む」「似た言葉と比べて読む」読み方を身に付けることができる。

7 本時指導の考え方

子どもたちは、前時まで、ライオンとしまうまの赤ちゃんの生まれたばかりの様子をとらえ、その違いは、おかあさんの違いに理由付けがありそうだとこのことを読み確かめている。

本時は、読み確かめの段階の第2時で、ライオンとしまうまの赤ちゃんが自分で歩くようになるまでの様子の違いを読み比べ、なぜ違いがあるのか読み確かめていく学習である。

本時指導にあたっては、まず、学習計画表をもとに本時のめあてを確認し、赤ちゃんの歩くようになるまでの様子に気を付けながら本時場面を音読させる。そして、様子を読み取るために中心となる言葉を視写させる。学習プリントは、ライオンとしまうまの赤ちゃんの様子の違いを比較しやすいよう、文章を上下に分けたものを準備しておく。

次に、ライオンとしまうまの赤ちゃんが自分で歩くようになるまでの様子を比べ、その違いを挿絵と叙述から考えさせる。その際、時間を表す言葉に着目させながら、自分で歩くことができるようになるまでの速さがずいぶん違うことを読み取らせる。また、発表の際は、「ライオンは、 だけど、しまうまは、 。」というように、両者を比べながら言わせることで、違いを意 させながら考えていくようにする。

さらに、ライオンとしまうまの赤ちゃんが自分で歩くようになるまでの様子が、なぜ違うのかを考えさせる。「だから、つよいどうぶつ 」という叙述と、前時の「ライオンは、どうぶつの王さま」という叙述から、歩くようになるまでの速さの違いは、おかあさんの違いに理由付けられることをとらえさせたい。

最後に、板書を使って本時で学習した読み方を振り返り、ライオンとしまうまの歩くようになるまでの様子と、なぜ違うのかを教師といっしょに書きまとめさせる。その際、書き出しを提示しておき、めあてに沿って書きまとめられるようにする。

8 板書例

ちがいをかんがえてみよう
めあて
どうぶつの赤ちゃん　　ますいみつこ

ライオンとしまうまの赤ちゃんの、あるようになるまでのようすをくらべ、なぜちがうのかよみたしめよう。

ライオンの赤ちゃん
・じぶんであるけない
・はこんでもらっている
ライオンの挿絵
さしえとつないでよむ

ライオンの赤ちゃんは、
じぶんでは、
あるくことができ
ません。

生まれて
三十分
も

しまうまの赤ちゃんは、
生まれて
じぶんで
立ち上がります。

たまたまに、
すく早く立ち上がる

生まれるのが早い
立ち上がるのが早い

おかあさんに、
口にくわえて
はこんでもらう
のです。

だから、
つよいどうぶつにおそわれても、
おかあさんやなかまと
いっしょに
にげることができるのです。

おかあさんもおそわれる
いっしょににげないといけ
ない

あるけなくても
まもってもらえる

ライオンの赤ちゃんは、あるくようになるのがおそいで
す。それは、おかあさんがつよくてあるけなくてもまもつ
てもらえるからです。しまうまの赤ちゃんは、すぐにある
くようになります。それは、おかあさんもおそわれるので、
いっしょににげないといけなからです。

9 本時の展開

時	学習活動と内容	指導上の留意点
2	<p>1 本時のめあてを確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ライオンとしまうまの赤ちゃんの、あるくようになるまでのようすをくらべ、なぜちがうのかよみたしかめよう。</p> </div>	<p>○ 学習計画表をもとに、本時のめあてを確かめる。</p>
3	<p>2 本時の場面を確認し、音読する。</p>	<p>○ 自分で歩くようになるまでの様子が書かれている言葉に気を付けて音読させる。</p>
2	<p>3 ライオンとしまうまの赤ちゃんの歩くようになるまでの様子を読み取る。</p> <p>(1) 歩くようになるまでの様子を表す言葉を視写する。</p> <p>(2) 歩くようになるまでの様子について話し合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ライオン ・自分では歩けない。 ・おかあさんに口にくわえて、はこんでもらっている。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>しまうま ・三十分もたたないうちに立ち上がって、次の日には ることができる。 ・生まれた日に歩けるようになる。</p> </div> <p>(3) 歩くようになるまでの様子の違いを確かめる。</p>	<p>○ 歩くようになるまでの様子を読み取るために中心となる言葉を視写させる。</p> <p>○ ライオンの赤ちゃんは、すぐには歩けないことを読み取らせる。</p> <p>○ 「立ち上がる」様子を、「立つ」という言葉と比べて考えたり、挿絵から考えたりさせ、しまうまの赤ちゃんの一生懸命さや力強さを読み取らせる。</p> <p>○ 「三十ぷんもたたないうちに」「つぎの日には」という時間を表す言葉に着目させ、自分たちの生活の時間と比べながら、しまうまの赤ちゃんの成長の速さを読み取らせる。</p> <p>○ 「ライオンの赤ちゃんは、しまうまの赤ちゃんは」と比べて発表させることで、違いを意 させる。</p>
1	<p>4 歩くようになるまでの様子がなぜ違うのか話し合う。</p>	<p>○ 「だからつよいどうぶつに」という叙述から、しまうまのおかあさんもおそわれる立場にあることに気付かせる。</p> <p>○ 前時学習から、ライオンのおかあさんは強い立場にあることを させる。</p>
1	<p>5 本時学習のまとめをする。</p> <p>(1) 歩くようになるまでの様子の違いとなぜ違うのかを書きまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ライオンの赤ちゃんは、あるくようになるのがおそいです。それは、おかあさんがつよくてあるけなくてもまもってもらえるからです。しまうまの赤ちゃんは、すぐにあるくようになります。それは、おかあさんもおそわれるので、いっしょにげないといけないからです。</p> </div> <p>(2) 学習した読み方を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 時間を表す言葉を読む。 ・ 挿絵とつないで読む。 ・ 似た言葉と比べて読む。 	<p>○ 板書をもとに 日の学習を振り返り、教師といっしょに書きまとめさせる。</p> <p>○ 書き出しを示しておき、めあてからずれないように書きまとめさせる。</p> <p>○ 板書をもとに、 日学習した読み方を振り返らせる。</p>